

2 社会科の学習で育てたい「生きる力」

—小学校・中学校「社会科」、高等学校「地理歴史科・公民科」の目標から—

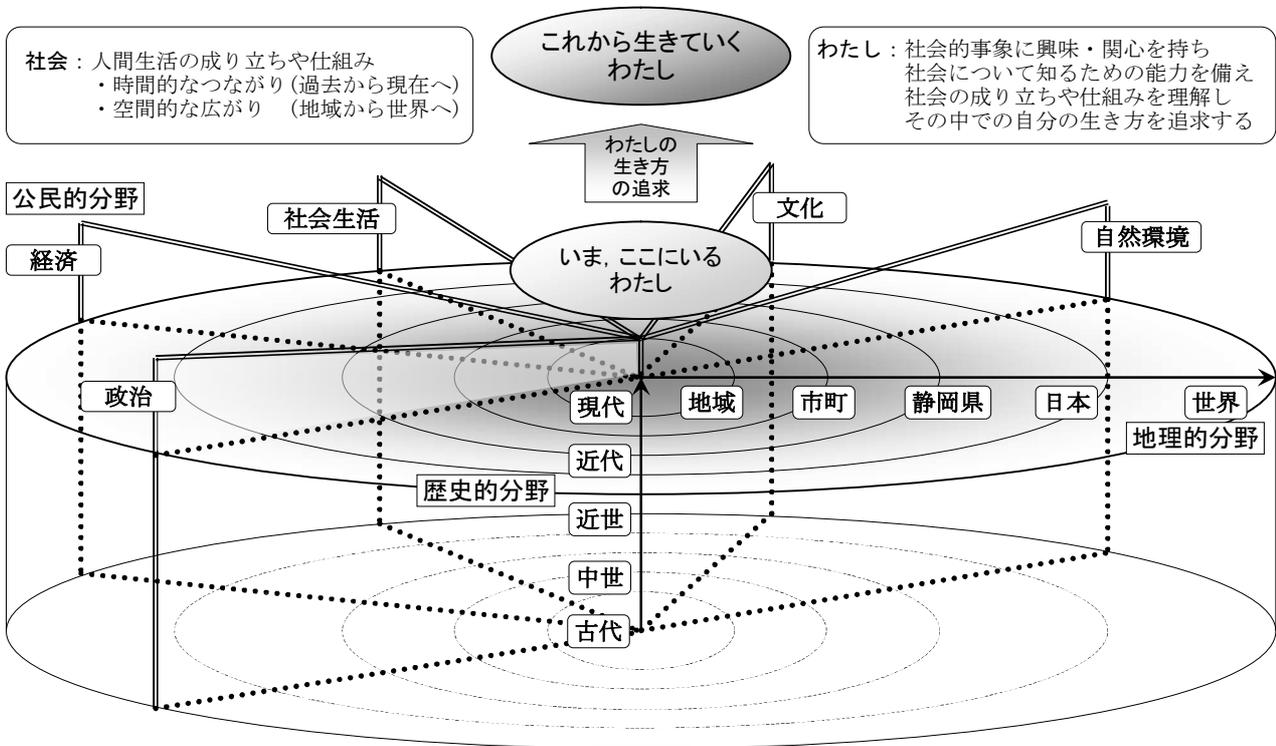
○各段階での教科目標

小学校社会	社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
中学校社会	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
高等学校地理歴史	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。
高等学校公民	広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

「国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民としての資質」の育成

↓ 社会科、地理歴史科・公民科で育てたい「生きる力」：
児童生徒が
「この社会の中で、わたしはどのように生きていくか」という問いを主体的に追究し、実現する力

社会科、地理歴史科・公民科の学習を通して、児童生徒に持たせたい「社会」と「わたし」のイメージ



○各段階で学習する分野、科目と、身に付けさせたい能力や態度

